

## Oracle Java SE 8 公式アップデート終了の対応について

### 【概要】

Oracle 社から提供されている Java SE 8 の公式アップデート終了が 2019 年 1 月に予定されています。これにより RV3000 システム装置をご使用のお客様は、対応が必要となる場合があります。本コンテンツの内容をご確認いただき、対応のご検討をお願いいたします。

### 【影響】

Oracle Java SE 8 の公式アップデート終了後は、セキュリティ脆弱性対策などのアップデートを無償でご利用できなくなります。

### 【対象製品】

RV3000 システム装置において、下記表に示す機能、アプリケーションをご使用の場合、前提ソフトウェアとして Java Runtime Environment (以下、JRE) をインストール頂いています。

項	システム装置	分類	対象機能/アプリケーション
1	RV3000	標準機能	リモートコンソール (Java Web Start)
2		アプリケーション	JP1 イベント通知ツール

### 【対応方法】

ご使用の機能、アプリケーションに応じて、以下に示す対応方法の適用をご検討ください。

#### (1) リモートコンソール (Java Web Start) の対応

(a) もしくは (b) の対応をお願いいたします。

(a) Oracle JRE 8 を使用する。

Oracle JRE 8 のアップデートを入手するためには、Oracle 社との有償サポート契約が必要になります。Oracle JRE 8 におけるサポート契約の詳細につきましては、Oracle 社ホームページをご覧ください。

(b) .NET リモートコンソール、もしくは Standalone Remote Console を使用する。

.NET リモートコンソールと Standalone Remote Console は Oracle JRE 8 を必要としませんので、こちらの使用をご検討ください。

なお、.NET リモートコンソールと Standalone Remote Console は、使用要件、起動方法、操作方法、画面表示、使用できる機能などに違いがあります。詳細は、「iLO 5 ユーザーガイド」をご確認ください。

#### (2) JP1 イベント通知ツールの対応

(a) もしくは (b) の対応をお願いいたします。

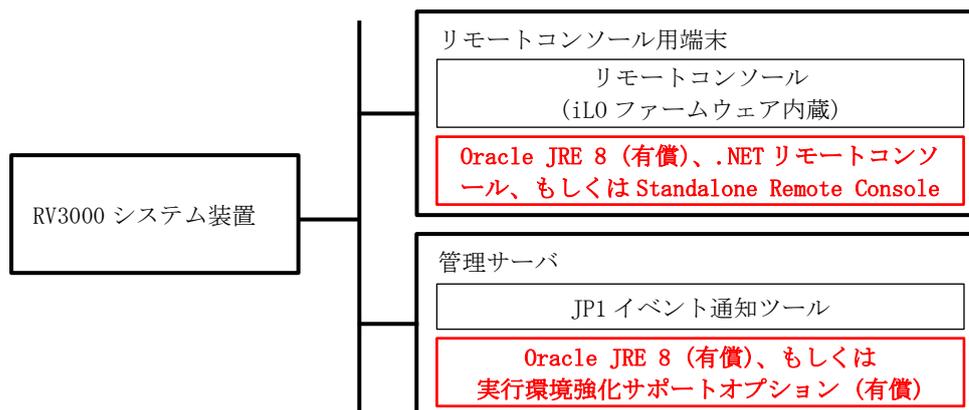
(a) Oracle JRE 8 を使用する。

Oracle JRE 8 のアップデートを入手するためには、Oracle 社との有償サポート契約が必要となります。Oracle JRE 8 におけるサポート契約の詳細につきましては、Oracle 社ホームページをご覧ください。

(b) 実行環境強化サポートオプション for Java [P-293Z-7J94] (Ver. 09-70 以降) を使用する。(\*1) 実行環境強化サポートオプション for Java をお持ちでないお客様はご購入いただく必要があります。

(\*1) 実行環境強化サポートオプション for Java のご使用には、JP1 イベント通知ツール Ver. 01-04 以降が必要です。JP1 イベント通知ツール Ver. 01-04 は、2019 年 2 月初旬に RV3000 ダウンロードサイトに掲載予定です。必要に応じて、JP1 イベント通知ツール最新版を RV3000 ダウンロードサイトからダウンロードをお願いいたします。

【対応後のイメージ】



【更新来歴】

2019 年 1 月 新規作成

- 本ページで記載している内容を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。